

Challenge!

来たれ、地域医療の原点へ。

山形県立新庄病院とは？

1 山形県最上二次保健医療圏唯一の中核病院です

昭和27年の設立以来71年、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、高度化、多様化する地域の医療需要に応える努力を積み重ねてきました。一次から一部の三次医療まで、地域のさまざまな症例の患者の方々が多数来院され、そのほとんどの症例に対応した医療を提供しています。

2 救急告示病院として地域の救急患者が搬送されます

1日26.9人、うち救急車搬送6.9人(令和4年度平均)の救急患者を受け入れています。消防本部と連携し、地域メディカルコントロール体制の中心として、救急患者の救命率の向上に努めています。派遣型救急ワークステーションを設置し救急救命士の病院実習を積極的に受け入れています。麻酔科医師等救急スタッフの充実に取り組んでいます。

3 へき地医療拠点病院として、地域医療を支えています

医師の派遣や、画像診断等を通じて、地域の病院、診療所を支援しています。地域医療機関に院内の症例検討会、ICLS勉強会等を開放しています。また、地域医療連携クリニカルパスを通じた病診連携を推進しています。

4 東北地域の大学医学部との交流を活発に行っています

山形大学医学部附属病院及び東北大学医学部附属病院の協力型研修病院にもなっており、両附属病院と同様の研修情報を提供できます。



国内でも最新鋭の血管造影装置



青森県

秋田県

岩手県

宮城県

山形県

福島県

最上二次保健医療圏

山形県北部、新庄市を中心とする1市4町3村。大阪府や香川県とほぼ同じ面積に、約8万人が住んでいます。65歳以上の老年人口が30%を超えるなど、少子高齢化が進んでいます。四季の区別がはっきりとし、全市町村に温泉が湧出するなど、自然豊かな地域です。その中で、地域全体の医師数の4割、病床数(精神除く)や助産師・看護師数の5割を当病院が占めるなど、地域医療の中心となっています。



[主要特殊高度医療]

- 経カテーテル動脈塞栓術(TAE)
- 心臓カテーテル検査
- 経皮冠動脈造影及び形成術(PTCA)
- 各種内視鏡下手術
(肺、脾臓、食道、胆嚢、消化管、婦人科、泌尿器科、関節)
- 消化管内視鏡超音波検査(EUS)
- 肝癌ラジオ波焼灼療法
- 造血幹細胞移植
- RI診断治療
- 放射線治療
- 各種顕微鏡下手術

[各種指定の状況]

- 医師臨床研修病院(基幹型及び協力型)
- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- DMAT指定医療機関
- 災害拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 第二種感染症指定医療機関
- 山形県肝炎専門医療機関

[各学会研修施設等認定状況]

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本呼吸器学会関連施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設
- 日本食道学会全国登録認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本乳癌学会関連施設

- 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージヤリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスチックサージヤリー学会インプラント実施施設
- 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- 日本泌尿器化学会専門医教育施設
- 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設

- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター設定施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本医学放射線学会画像診断管理認定施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
- 日本腹部救急医学会認定医・教育医制度設定施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本肝臓学会肝臓専門医制度認定施設
- 日本専門医機構総合診療専門医制度専門研修プログラム認定施設

病院の概況 (令和5年4月1日現在:医師数は常勤のみ/患者実績は令和4年度)

診療科	内科	小児	外科	整形	形成	脳外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	救急	透析	計
医師数	15	3	7	4	2	2	1	3	3	1	3	2	1	2		49
病床数	153	12	24	58	4	29	0	8	25	2	12					327
外来患者数	1日	204	18	35	78	32	32	42	32	51	32	54	15		17	642
入院患者数	平均	127	4	12	47	2	19	0	10	14	1	7				243

- 病床数は、これに緩和ケア、集中治療室、感染症室、人間ドック等を加え、343床となります。
- 常勤医師49名のうち専門医・認定医は23名(令和5年度)救急患者数9,847名/年、手術件数1,922件/年(令和4年度)

外来で化学療法を受けることができます



新庄病院の 臨床研修プログラム

CLINICAL TRAINING PROGRAM

01 プログラムの特色 1

- 1 充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで救急医療の現場を多数経験できます。
(年間の救急患者は約9,900名 令和4年度)
- 2 一次から一部の三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することにより、プライマリケアの基本的診療能力が習得できます。
- 3 地域内の町立病院、村立診療所、保健所等を含めた研修を行うことにより、地域医療の実感を体得できます。
- 4 募集人員は、充実した研修が行えるように、あえて1年次5名に限定しており、少人数の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの、あるいは研修医1人に対し指導医2人以上の充実した研修を行います。

研修 目標

幅広い知識をもつ
医師の育成を目指します

新庄病院憲章に掲げる「仁・愛・和」の基本理念に基づき、地域住民に安心と信頼を与えられる「幅広い知識」をもつ医師の育成を目指します。



02 プログラムの特色 2

症例検討会、論文抄読会、臨床病理検討会、院外発表、論文発表など経験した症例についてさらに学ぶことができ、診療能力のみならず、多くの知識が習得できます。

臨床病理検討会(CPC)

山形大学医学部附属病院から病理学の担当医師を招き的確で鋭いアドバイスをいただいています。



院内 講習会



心肺蘇生法、災害医療などの院内講習会も充実しております。

研修分野及び研修期間

(1) 臨床研修を行う分野

必修研修: 内科、地域医療 (町立病院、村立診療所)

選択必修: 外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科 (県立こころの医療センター、PFC HOSPITAL、秋野病院)

自由選択: 上記必修、選択必修分野に加えて
整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科
地域保健 (保健所、血液センター、町立病院、村立診療所)

(2) 研修期間 / 募集人員

[初年次研修医] 令和6年4月1日から2年間 / 募集人員: 5名

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
研修プログラム (1年次)	内科																麻酔				救急				必修4科目 (1科目につき4週以上) 外科・小児科・産婦人科・精神科 ※ 精神科は協力施設での研修になります																							

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
研修プログラム (2年次)	必修4科目				地域医療				自由選択 ★ 必修科目に加え、整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・地域保健																																							

【救急当直】1年次は副直として月3回、2年次は月3回程度実施

03 プログラムの特色 3

研修医に対しても研究調査事業費 (1人年間66万円:令和4年度実績) が割り当てられ、学会参加や必要な書籍、情報機器等の購入ができます。また、ICLS、JATECなどの院外講習会、専門分野の学会・講習会などに、積極的に参加していただきます。



医療 活動



被災地での医療活動

- 2019年9月 台風19号被災地(宮城県) 災害派遣医療チーム(DMAT)派遣
- 2018年9月 北海道胆振東部地震 災害派遣医療チーム(DMAT)派遣



研修終了後の進路

レジデント、チーフレジデントとして
引き続き当病院で研修を継続

関連大学病院での専門研修

その他、研修医の皆さんの希望に
当病院が責任をもって対応します

Doctor's Message

主な診療科の指導医から
ひとことメッセージ



産婦人科

酒井 一嘉 教育研修部副部長

●地域にただ1つの分娩取扱い施設となっており、産科の症例が多くあります。(令和4年度の分娩は約287件) ●分娩の立会い、帝王切開の麻酔、執刀も多数経験できます。 ●婦人科の症例も多く、婦人科がなんも初期から高度まで豊富に学べます。 ●漢方治療も積極的に取り入れています。



麻酔科

佐藤 正義 救急部長 (兼) 集中治療室長

●年間麻酔科管理症例数約700件あります。 ●小児から高齢者まで幅広い患者さんを対象としています。 ●特徴として臨時手術が20~30%を占めるため、より実践的な研修ができます。



外科

松本 秀一 副院長

●研修医のうちから手術に執刀できる機会が多くあります。 ●中核病院として予定手術だけでなく、臨時手術、外傷手術の件数を多く経験できます。



小児科

本間 友美 教育研修部長

●最上地域で唯一、小児が入院できる病院ですので、新生児から中学生までのいろいろな症例をみることができます。



脳神経外科

加藤 直樹 リハビリテーション部長

●当科では脳卒中、外傷の治療を中心に急性期から慢性期まで、及び手術から全身管理までと、基礎的なことを幅広く学ぶことができます。



内科

堀内 英和 診療機材部長

●それぞれの専門性をベースに基礎から高度医療まで指導しています。 ●地域に根差した総合内科的なプライマリ・ケアを偏りなく学べます。 ●消化器領域では通常の上下部内視鏡検査をはじめ、胃ESD(年間約50例)やERCP(年間約90例)などの専門的な治療にも力を入れており、一般内科の診療の支柱となる専門性にも重点を置いた研修が出来ます。



循環器内科

奥山 英伸 放射線部長

●循環器科は3人の専門医が、呼吸苦・浮腫・胸痛・動悸・めまい・失神・間欠性跛行等の症状を有する方々を診察しトリアージします。 ●一年間に、約600件の心血管疾患症例が入院します。カテーテル治療307件(心臓294件、四肢13件)、ペースメーカー治療28件、心臓超音波検査約2,400件/年を行っています。さらに、心臓リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。循環器科プライマリケアを勉強する上で最高の施設です。

地域の人々に支えられ 地域医療を担って 71年

地域医療



● 県立新庄病院に感謝のメッセージを伝えるセレモニー



● 学習会「子どもの急病時の対応」

地域と病院との信頼の絆は、
当院に勤務する1人1人が実感しています

地理的・社会的条件から、地域としての一体性が強い最上地域で、設立以来70年、唯一の中核病院として地域医療を担ってきました。県立の施設が数ある中、地域の人が「ケンリツ」といえば「県立新庄病院」のことです。

最上地域の定期バスは全便、「県立病院」が発発、終着となっています。最上地域の8つの市町村や医師会、病院などで組織する「最上地域保健医療対策協議会」では、地域をあげて、当院を中心とした地域の医療機関への医師の確保、育成、定着を図る取組みを行っています。

「地域からの厚い信頼」

地域医療を学ぶ環境として
最も大切なことでは
ないでしょうか。



Mogami 医師の負担軽減を図るための運動「最上の会」

平成23年2月、「私たちお医者さんを守る最上の会」が発足し、当院勤務医の負担軽減を図るための適正受診の呼びかけを行うなどの住民運動を展開しています。当院でも、この会が主催する講演会等に当院医師を派遣するなど、この取組みを支援しています。



● 私たちお医者さんを守る最上の会発足式

各種レクリエーションの企画も多く、
厳しい中にも「楽しい研修医時代」を
送ることができます。



市内スポーツクラブを利用
できます(助成あり)。



全職種合同の親睦会で、チ
ーム医療に必要な交流を深
めています。

交流



新庄病院健康まつり

地域住民に病院の施設や業務を公開し、病院への理解を深めていただくために毎年開催しています。



山形県立新庄病院(基幹型臨床研修病院)における

令和6年度 初期臨床研修医募集要領

山形県立新庄病院臨床研修病院群(以下「県立新庄病院群」という。)における令和6年度の初期臨床研修医を、下記のとおり募集します。

1 応募資格

- (1)初年次研修医 次のいずれかに該当する者
- 令和6年4月30日までに医師免許を取得する見込みの者
 - 平成17年4月1日以降に医師免許を取得した者で医師法第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を行っていない者

2 募集人員

初年次研修医: 5名 / 令和6年4月1日から2年間

3 身分及び給与等

- (1)身分: 会計年度任用職員
(2)給与: 初年次研修医

- ① 研修1年目は、基本月額 366,096円、その他所定の手当(住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、宿日直手当、期末手当等)を支給します。ただし、医師免許取得前は別に定める金額とします。(研修1年目の初期研修医の年収例) 年収650万円程度
- ② 研修2年目は、基本月額 383,844円、その他所定の手当(住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、宿日直手当、期末手当等)を支給します。(研修2年目の初期研修医の年収例) 年収750万円程度

*給与については、常勤職員の給与改定に準じ改定する場合があります。

(3)その他:

退職手当	有
休暇	山形県の常勤職員に準じます。(年次有給休暇 1年目15日、2年目以降20日、夏季休暇等のその他の有給休暇制度有)
社会保険等	健康保険及び厚生年金に加入
医師賠償保険	病院において包括加入及び個人加入有
宿舎	3DK又は2DKの医師アパート有

4 研修内容

県立新庄病院群の臨床研修プログラムに基づき、指導医の指示に従い、診療業務を通じ臨床研修を行います。

5 選考の日時及び場所・選考方法

日時 【一次選考】令和5年9月13日(水)まで随時
【二次選考】令和6年2月21日(水)まで随時
※二次選考は一次選考で募集人員に満たなかった場合に実施します。

場所 山形県立新庄病院(新庄市若葉町12番55号)
※選考の日程等詳細については、後日応募者に対し通知します。

6 応募の手続き

電話連絡のうえ、下記の書類を選考日の3日前まで提出してください。

- 令和6年度初期臨床研修医採用選考申込書 1部
- 履歴書(写真貼付) 1部
- 成績証明書 1部



山形県立新庄病院採用サイトよりPDFをダウンロードしてください。
<https://shinjo-resident.jp/recruit/resident/>

7 提出先及び問合せ先

山形県立新庄病院 総務課
〒996-0025 新庄市若葉町12番55号 電話:0233(22)5525(代)

「病院見学を随時受け入れています」(旅費支給)



医師人生のスタートを
どこで始めるか、迷って当然です

院長

八戸茂美

弘前大学医学部卒 / 内科・消化器内科

「医師人生のスタートをどこで始めるか」、迷って当然です。まずは新庄病院に来てみてください。病院に触れ、スタッフに触れ、地域住民に触れ、そしてわずか2年の間に実に多くの疾患を経験したとき、君たちの選択がベストであったことに気づきます。もちろん充実した研修が送れますよう全職員一丸となって応援します。



地域医療最前線を
一緒に体験しましょう

教育研修
部長

本間友美

山形大学医学部卒 / 小児科

当院は山形県北部の新庄最上二次医療圏における唯一の中核病院として地域医療を担ってきました。地域のほとんどの救急患者が搬送される病院です。一次から三次医療まで様々な症例を通し、プライマリ・ケアの習得ができます。研修医は少人数の利点を生かし、マンツーマン、あるいは研修医1人に対し指導医2人以上のもとで、数多くの手技を経験しています。各診療科の垣根は低く、アットホームな環境で研修できます。ぜひ一度見学にいらしてください。地域医療最前線を一緒に体験しましょう。



整った研修環境と親切で温かな
スタッフが迎えてくれます

令和3年度
臨床研修
修了

山本雄太

東北大学医学部卒 / 令和2年度採用

新庄病院ではマンツーマンの指導体制で、先生方がひとりひとりに丁寧に指導していただきます。スタッフのみなさんもとても熱心で親切で、サポートの面でも体制の整った研修環境にあります。きっと有意義な研修期間を過ごすことができると思います。まずはぜひ一度見学にいらしてください。